

臨床研究の情報公開（オプトアウト情報公開）について

当院麻酔科では以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者様への侵襲や介入がなく、通常の診療で得られた診療情報の記録（カルテ）に基づき実施する研究です。このような研究は、国が定めた指針「人を対象とする医学系研究に関する指針」に基づき、対象となる患者様のお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するするとともに、参加拒否の機会を保障することとされており、これを「オプトアウト」といいます。

オプトアウトの対象となっている臨床研究は以下の通りです。これらの研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了承されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡下さい。また、ご協力の拒否を申し出られても何ら不利益を被る事はありません。

問い合わせ先：福島赤十字病院 麻酔科部長 出羽明子 TEL：024-534-6101

研究情報：下記の研究へのご協力をお願い致します。

臨床研究 1

研究課題名：「股関節骨折に対する手術治療における適切な麻酔・周術期管理の検討」

研究の目的：転倒などにより生じる股関節骨折は高齢化に伴い世界中で増加しており、致命的な有害事象の引き金になるとともに公衆衛生上の問題ともなっています。全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔のそれぞれが股関節手術の周術期に及ぼす影響を分析し、特にハイリスクな高齢患者に対し安全かつ適切な麻酔・周術期管理を提唱することが本研究の目的です。

対象となる方：2019年1月から現在までに当院で股関節骨折に対する手術を施行された患者様を対象と致します（データの集積は現在も進行中です）。

研究の期間：2023年4月～2025年3月（2年0月0週間）

研究の方法：対象となる患者様のバイタルデータなどを麻酔記録システム、電子カルテ記録から抽出し、「全身麻酔＋神経ブロック群」、「脊髄くも膜下麻酔群」の2群に分け、各項目につき統計解析を行います。

個人情報の取り扱い：本研究で得られたデータ解析結果の公表（学術講演会での発表や医学雑誌への論文投稿）に際しましては、患者様を特定できないように氏名や住所等の個人情報を完全に伏せた状態で行います。

その他：本研究では、患者様への費用の負担や謝礼はありません。また、本研究にかかわる利益相反もありません。

実施責任者：福島赤十字病院 麻酔科副部長 江花英朗